

「カーボンクレジット対応費用保険」の開発

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長:城田 宏明、以下「当社」)は、カーボンクレジットの価値が毀損した場合に、カーボンクレジットの所有者が代替品を調達する費用等を補償する、カーボンクレジット所有者向け保険「カーボンクレジット対応費用保険」を開発しましたのでお知らせいたします。

1. 背景

2024年11月に開催されたCOP29において、パリ協定第6条に基づき、GHGs排出(以下「排出」)削減や、吸収・除去の量を国際的に分配する運用を実施することが決定しました。2024年より国際航空業界では CORSIA^{(*)1}加盟国の国際航空会社に対して、排出量を基準以下に抑制することが義務付けられておりますが、カーボンクレジットで排出をオフセットすることが認められています。そうした背景もあり、カーボンクレジットの国際的な需要はますます加速していくことが見込まれています。

一方で、カーボンクレジットによる排出オフセットについては、その開示情報が外部から厳しく監視・評価されるようになりつつあり、グリーンウォッシング批判に晒されるリスクを抱えています。カーボンクレジットの創出元であるプロジェクトの認証^{(*)2}が取り消された場合は、企業が所有するカーボンクレジットが価値を失い、脱炭素目標の達成のために代替品の購入を要したり、基準排出量の未達に伴い事業活動が制限されたりする、といったリスクが顕在化するおそれがあります。

当社は2024年7月より「カーボンクレジット・レピュテーション費用保険」^{(*)3}を国内で提供開始しておりますが、今般新たに、創出元であるプロジェクトについて発生した特定の事由に伴い、カーボンクレジットの価値が毀損した場合に、企業が被る損害を補償する「カーボンクレジット対応費用保険」を開発いたしました。

(*)1 Carbon Offsetting and Reduction Scheme for International Aviation: 国際民間航空機関(ICAO)によって策定された、国際航空業界のCO2排出抑制による気候変動影響の軽減を目的とした制度。

(*)2 カーボンクレジットの創出を目的とするプロジェクトは、認証機関による審査を経て認証を受けることで、カーボンクレジットの創出を行うことができる。

(*)3 2024年7月19日ニュースリリース:【国内初】カーボンクレジットの購入企業向け専用保険の開発

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/240719_02.pdf

2. 商品概要

被保険者が所有するカーボンクレジットの創出元であるプロジェクト^{(*)4}(以下「対象プロジェクト」)について、以下の対象となる事故が発生した場合に、被保険者が被る損害を補償します。

(*)4 特定の第三者機関が認証したプロジェクトを対象としている。

【対象となる事故】

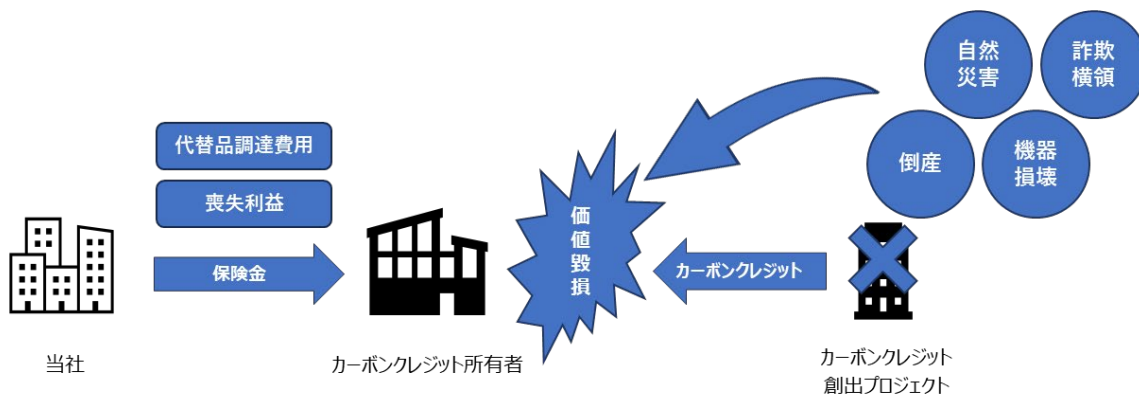
被保険者が所有するカーボンをクレジットが、対象プロジェクトについて次のような事由が生じた結果、価値が毀損すること。

- ① 対象プロジェクトの火災、自然災害、その他人為的なミス等の原因による損壊
- ② 対象プロジェクトの開発者の倒産または事業撤退
- ③ 対象プロジェクトの開発者・出資者等による詐欺または横領 等

【補償する損害】

対象プロジェクトについて、上記の対象となる事故が生じた場合に、被保険者であるカーボンをクレジット所有企業が代替のカーボンをクレジットを調達するために支出した費用や逸失する利益に対して、契約条件で定められた保険金を支払います。

【補償スキーム】



3. 今後について

当社は、カーボンをクレジット取引市場の成長を支える保険商品・サービスの開発を通じて、カーボンをニュートラルの実現・脱炭素社会への移行に一層貢献してまいります。

以上